

ジャワ南西部沖 M7.2

観光地に津波、6人死亡

【ジャカルタ＝黒瀬悦成】

米地質調査所によると、インドネシア・ジャワ島南西部沖で17日午後3時19分（日本時間同5時19分）ごろ、マグニチュード（M）7.2の強い地震が発生した。インドネシア政府やA

P通信によると、震源に最も近い同島南部沿岸の観光地パンガンダラン市などを津波が襲い、少なくとも6人が死亡した。地元メディアによれば、海岸沿いの民

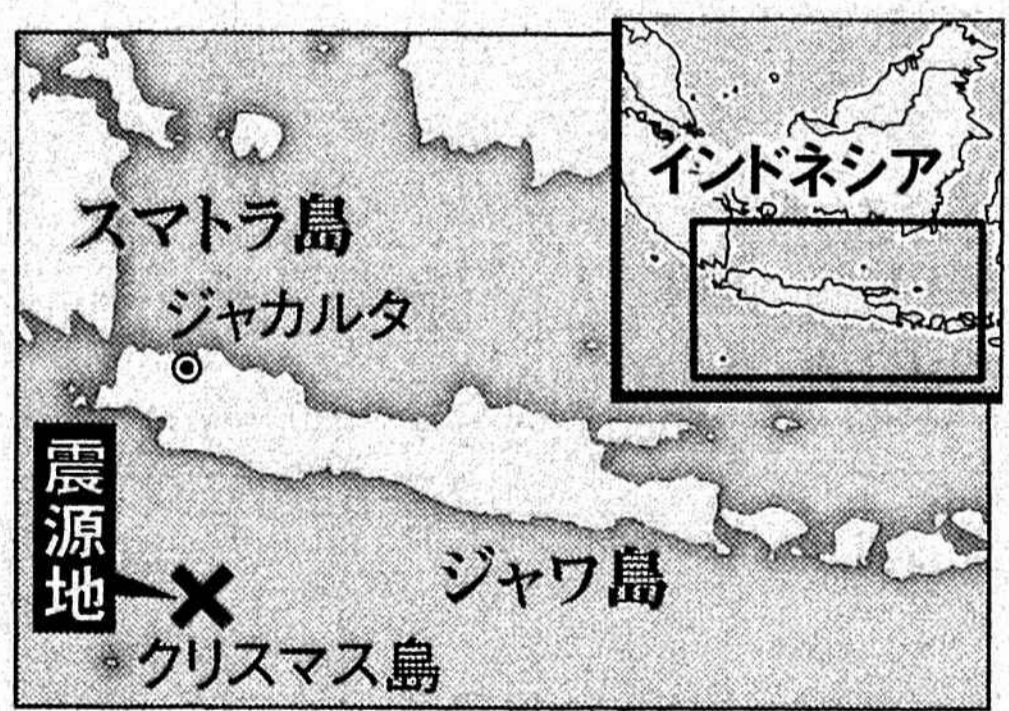
宿や家屋が津波で破壊された模様で、死者数はさらに

増える可能性もある。

地元住民によると、津波は2度にわたり海岸に到達。いずれも高さは数メートルとみられる。住民の1人は地元ラジオに対し、乗用車が波にのまれ4人が行方不明になったと語った。

ジャカルタでも揺れが感じられたが、現在までに首都圏での被害は確認されていない。

米地質調査所によれば、震源はジャカルタから南東に358キロのインド洋で、震源の深さは48.6キロ。米太



平洋津波警報センター（ハワイ）は地震直後、ジャワ島やオーストラリアのクリスマス島に津波が到達する恐れがあると警告していた。

◇ 外務省はインドネシア

政府や現地在住の日本人らから情報収集。西ジャワ州と中部ジャワ州の州境付近の沿岸部で津波被害があったとされるが、17日午後10時現在、日本人の被害情報は無いという。西ジャワ州の州都バンドンの南にある内陸のタシクマラヤに日本人4人が住んでいるが、全員の無事を確認した。

被災地の緊急医療支援を行うNGO「AMDA（アムダ）」（本部・岡山市）では、スタッフが事務所に集まり、情報収集を始めた。